

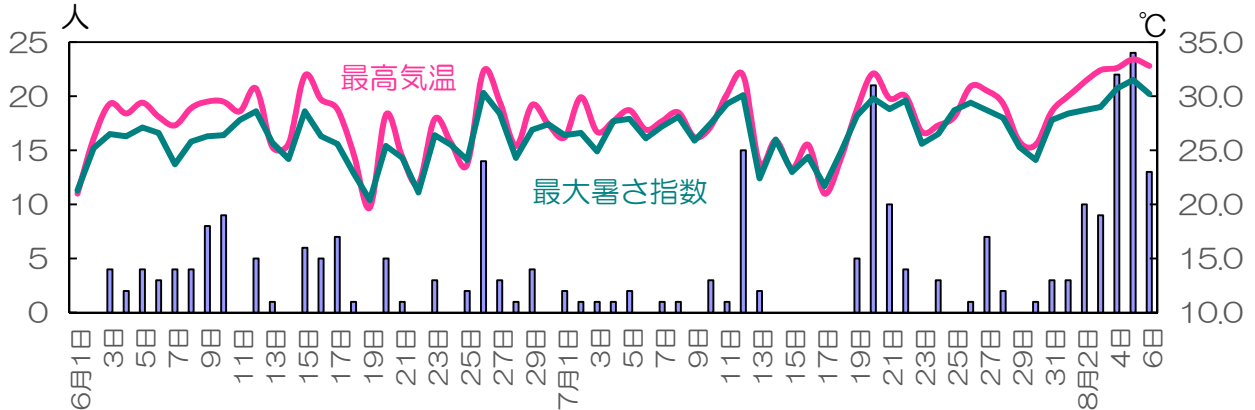
熱中症情報

<搬送数>

令和2年5月1日～8月6日までの搬送数（消防局データを使用）は、計288人（5月24人、6月96人、7月87人、8月81人）でした。梅雨明後、8月から連日、最高気温が30℃以上で、搬送数も増加しています。8月5日は最高気温が33.4℃と高く、搬送数も24人と多かったです。

8月7日からは、「熱中症警戒アラート」が発表されるなどの猛烈な暑さになっています。こまめに水分を取り、外出はなるべく避け、適切に冷房を使用するなど、暑さから身を守りましょう。

また、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大しています。『新しい生活様式』を実践し、感染症予防とともに、これまで以上に熱中症予防（屋外で人と2m以上離れている時は、マスクを外すなど）にも心掛けましょう。



暑さ指数とは? 人間の熱バランスに影響の大きい①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは?](#)」をご覧ください。

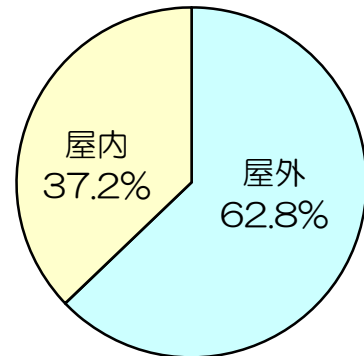
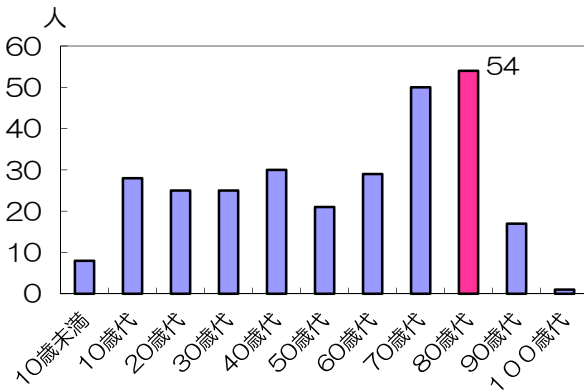
以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

<年齢別>

年齢別では、80歳代が54人と、最も多く、18.8%でした。

<発生場所>

屋外62.8%、屋内37.2%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症56.9%、中等症39.2%、重症3.1%、重篤0.7%でした。

高齢者（65歳以上）の重症の割合が高くなっており、高齢になると重症化の傾向が伺えます。

